

《担当者名》花淵 馨也 hanab@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

「人間と動物」の関係について、地球誕生から現代までの人類史と世界の多様な文化の事例をとり上げて検討することで、野生を支配しようとしてきた近代以降の「人間中心主義」を見つめ直し、社会的、文化的存在として生きる人間についての理解を深める。

【学修目標】

1. 異文化理解や他者理解に関する文化人類学的アプローチの視点と方法について説明できる。
2. 文化の多様性について学ぶことで自文化の「あたり前」を相対化する視点を身につける。
3. 看護や福祉の基盤となる深い人間理解のための見識を養い、広い世界を見通すための視野を身につける。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|----------------|----------------------------------|-----|
| 1 | ガイダンス | 講義の目的と内容についての説明 | 花淵 |
| 2 | パンツをはいたサル | ヒトと動物のちがいについて考える | 花淵 |
| 3 | 生き残ったホモサピエンス | ヒトらしさの進化について考える | 花淵 |
| 4 | オオカミ少女にもなれる | 文化の恣意性と自明性について考える | 花淵 |
| 5 | ヒトとは？ | ヒトであることの条件とは？(R1) | 花淵 |
| 6 | 動物を狩る、動物を飼う | 狩猟採集の生活と農耕牧畜による変化について考える | 花淵 |
| 7 | 「私はカンガルーだ！」 | トーテミズムとアニミズムの思想について考える | 花淵 |
| 8 | サクリファイス | 動物供犠と供養の心について考える | 花淵 |
| 9 | ナブ(非人間)としての私たち | ヤノマミの生き方について考える | 花淵 |
| 10 | 人間と動物の対称性 | 狩猟採集社会における人間と動物(R2) | 花淵 |
| 11 | 絶滅動物と動物工場 | 開発進歩思想の代価について考える | 花淵 |
| 12 | 動物の愛し方 | ナチスと動物保護法、ペット問題について考える | 花淵 |
| 13 | 捕鯨問題とは | 残酷性と文化摩擦について考える | 花淵 |
| 14 | 捕鯨問題ディベート | 捕鯨問題について考える 現代社会における動物と人間(R3) | 花淵 |
| 15 | まとめ | 講義全体のまとめ | 花淵 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート100%

【教科書】

なし

【参考書】

奥野克巳・花淵馨也共編 『文化人類学のレッスン：フィールドからの出発』 学陽書房

【備考】

この授業ではGoogle Classroomを使用して授業資料の配布や出席確認を行います。

【学修の準備】

予習：講義で出された課題について考えてくること(80分)

復習：講義の内容を整理し、自分の考えをまとめておくこと(80分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5,1